

日頃の備えが、「命」を守る

近年、平成28年熊本地震や平成29年7月九州北部豪雨など大規模な災害が発生しています。災害は、「とき」「ところ」「ひと」を選びません。被害を最小限に抑えるためには、日頃から防災意識を持ち、災害に備えるとともに、地域ぐるみで防災体制を確立していくことが重要です。

警戒レベル4で全員避難!

どのくらい危険な災害で、そのときにどんな避難行動をとればいいのかを5段階の警戒レベルで表しています。警戒レベルが出されたら注意が必要です。市町村から警戒レベル3または4が発令された地域にお住まいの人は速やかに安全な場所へ避難してください。

また、新型コロナウイルスなど感染症がまん延している状況で避難する場合は、避難所だけでなく知人・親戚宅への避難も検討してください。避難する際は可能な限りマスク・消毒液・体温計・タオルなどを持参し、避難先では手洗い・咳エチケットなどの感染予防を徹底してください。

避難情報など

警戒レベル	避難行動など	避難情報など
警戒レベル 5 災害発生中	すでに災害が発生している状況です。命を守るための行動をとりましょう。 	災害発生情報など (市町村が発令)
警戒レベル 4 全員避難	すぐに避難先へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所や家の中より安全な場所に避難しましょう。 	避難勧告 避難指示(緊急) (市町村が発令)
警戒レベル 3 高齢者などは避難	避難に時間がかかる人(高齢者・小さな子どもなど)は付き添いの人と避難しましょう。その他の人は、避難の準備をしましょう。 	避難準備・高齢者など避難開始 (市町村が発令)
警戒レベル 2	ハザードマップを見て、どのように避難するか、確認しましょう。 	注意報 (気象庁が発表)
警戒レベル 1	数日分の食べ物や水、避難グッズを準備し、災害に備えましょう。 	早期注意情報 (気象庁が発表)

防災気象情報

集中豪雨	台風	土砂災害
・大雨特別警報 ・氾濫発生情報		
・氾濫危険情報		・土砂災害警戒情報
・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報		
・大雨注意報 ・洪水注意報		
・早期注意情報		

問い合わせ:防災企画課 ☎092-643-3112 ファクス092-643-3117

自宅の「災害危険度」や避難経路を確認しよう!

多くの市町村では、災害が起きる危険な場所や避難所などを示した、ハザードマップを作成・公開しています。各種ハザードマップでは、土砂災害・洪水・浸水など、それぞれの災害がどの場所で起きる可能性があるのか知ることができます。

日頃から自分が住んでいる地域がどのような災害の危険性があるのかを確認しておくとともに、最寄りの避難場所までの安全な避難経路を検討しておきましょう。

ハザードマップについては、各市町村の防災担当課までお問い合わせください。

